

第1回 ミュージアム連携ワークショップ in 大阪

公開講座：自然史からグリーンインフラを考える

開催趣旨

博物館や水族園の自然史の専門家とともに、自然・生態系の社会基盤として注目を集めている“グリーンインフラ”をテーマに、応用生態工学的に新しいアイデア、切り口を見つけるワークショップを開催します。

■日時：2015年10月4日(日)

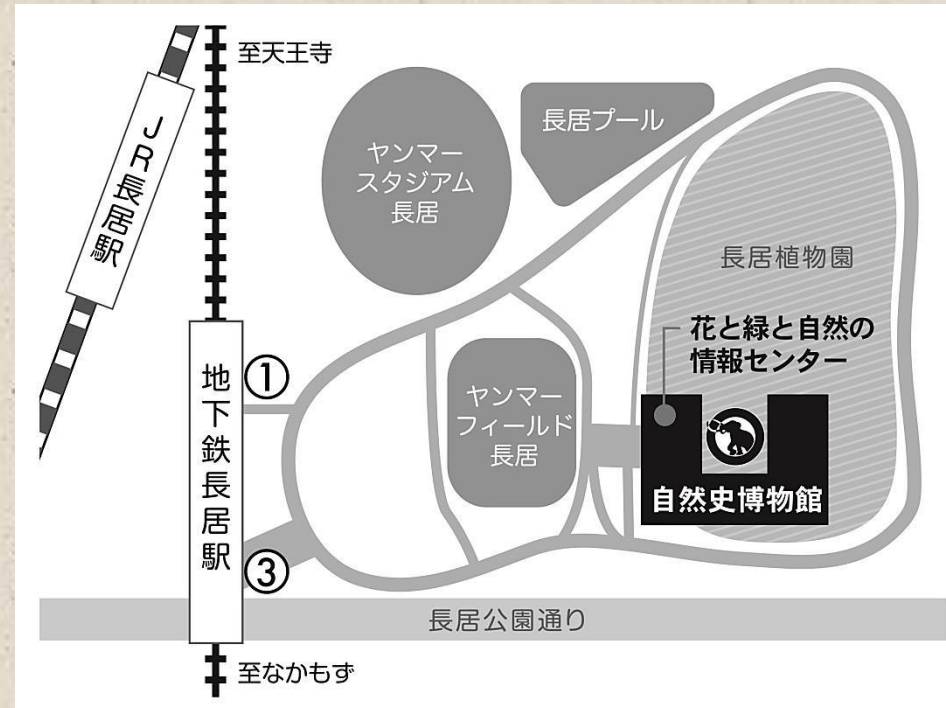
■場所：大阪市立自然史博物館

自然史博物館には、植物園入口、あるいは花と緑と自然の情報センターのゲート、いずれからでも入館できます。植物園と博物館の共通入場券(大人300円、中学生以下、市内在住の65歳以上は無料)を買って下さい。

情報センターの2階のネイチャーホールでは、特別展「たまごと種—いのちのはじまりと不思議」開催中です。特展の入場料は500円ですが、博物館などとのセット券700円もあります。特展をごらんになる方は、1時間以上早めのご来館をおすすめします。

■参加費：無料(どなたも自由に参加できます)

ただし、博物館への入場料 ¥300、資料代 ¥1,000 は別途(懇親会 ¥5,000、参加される方は事前の申し込みをお願いします)



■プログラム

◇ 13:00~ 受付開始

◇ 13:30~16:30 公開講座(講堂)

○ 13:30~13:35 趣旨説明

○ 13:35~15:15 話題提供

招待講演(40分)

グリーンインフラを探る視点について

大阪府立大学 上浦木昭春

話題提供(各20分)

ヒゲナガカワトビケラによる河川の浄化機能

大阪市立自然史博物館 谷田一三

水質浄化ツールとしてのグリーンインフラ

人と自然の博物館 三橋弘宗

日本におけるミシシippアカミミガメ問題

須磨海浜水族園 亀崎直樹

(休憩 10分)

○ 15:25~16:30 総合討議、総括

(進行) 大阪府立大学 藤原宣夫

○ 16:30 閉会

※(18:00~ 懇親会：長居周辺)

(敬省略)

■申し込み方法

下記問い合わせ先に、所属、お名前、連絡先を添えてお申込みください。

申し込み期限は9月28日(月)です。一般にも公開します。当日参加も可能ですが、資料準備の関係もありますので、できるだけ事前にお申し込みください。

ミュージアム連携ワークショップ in 大阪 事務局

応用生態工学会大阪 代表 渡辺敏

(株式会社ウエスコ関西支社環境計画事業部内)

e-mail: s-watanabe@wesco.co.jp

TEL: 06-6943-1520

主催： 応用生態工学会 大阪

共催： 大阪市立自然史博物館、神戸市立須磨海浜水族園、兵庫県立人と自然の博物館

後援： 建設コンサルタンツ協会近畿支部